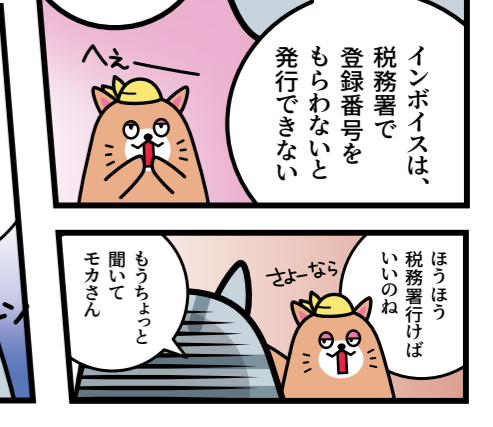
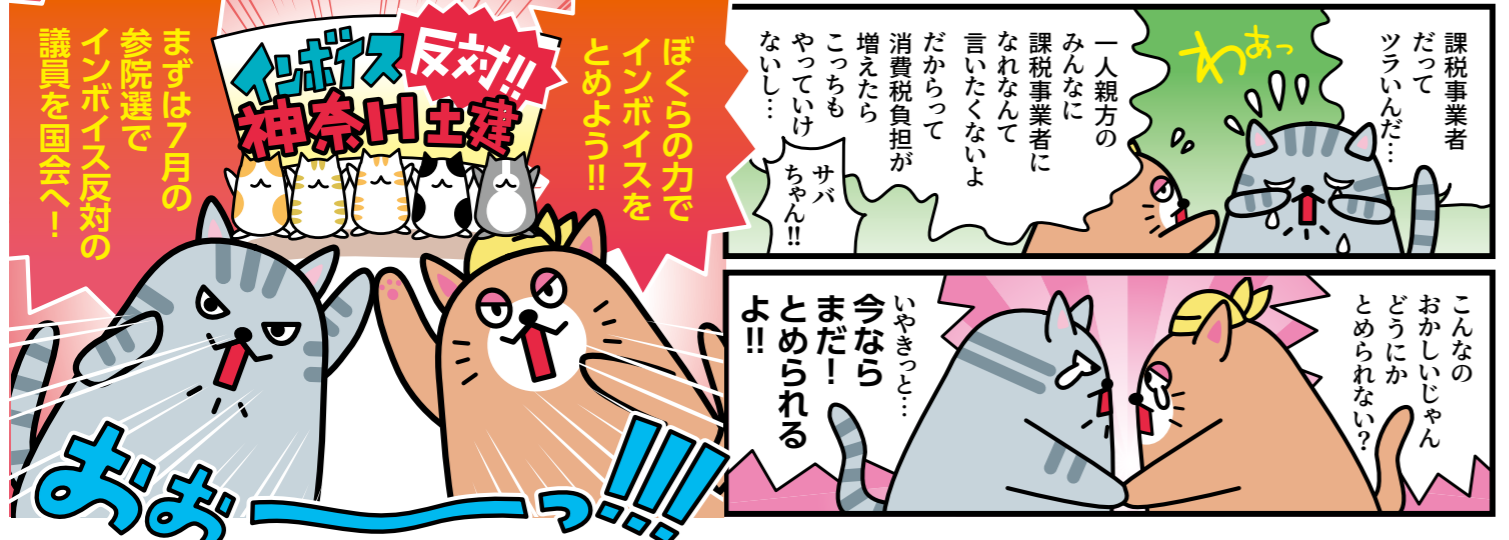
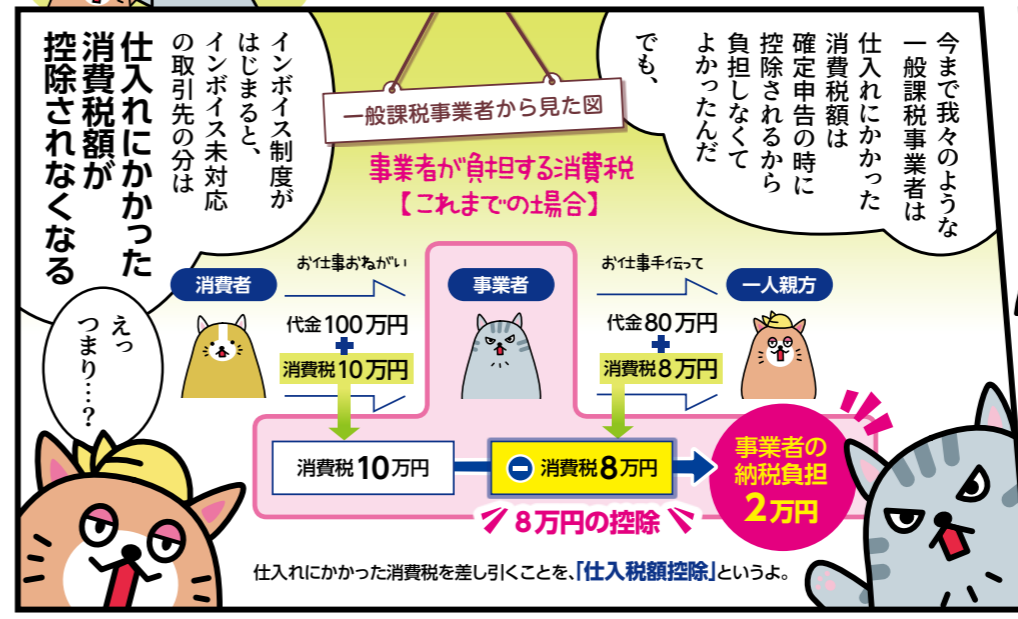
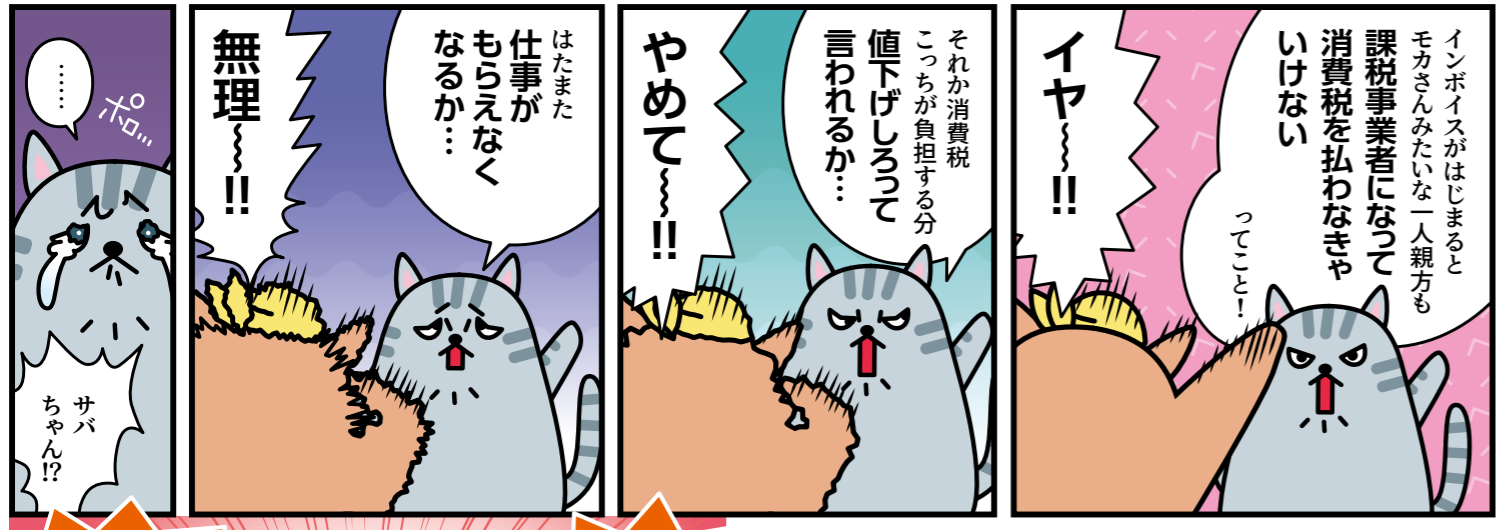
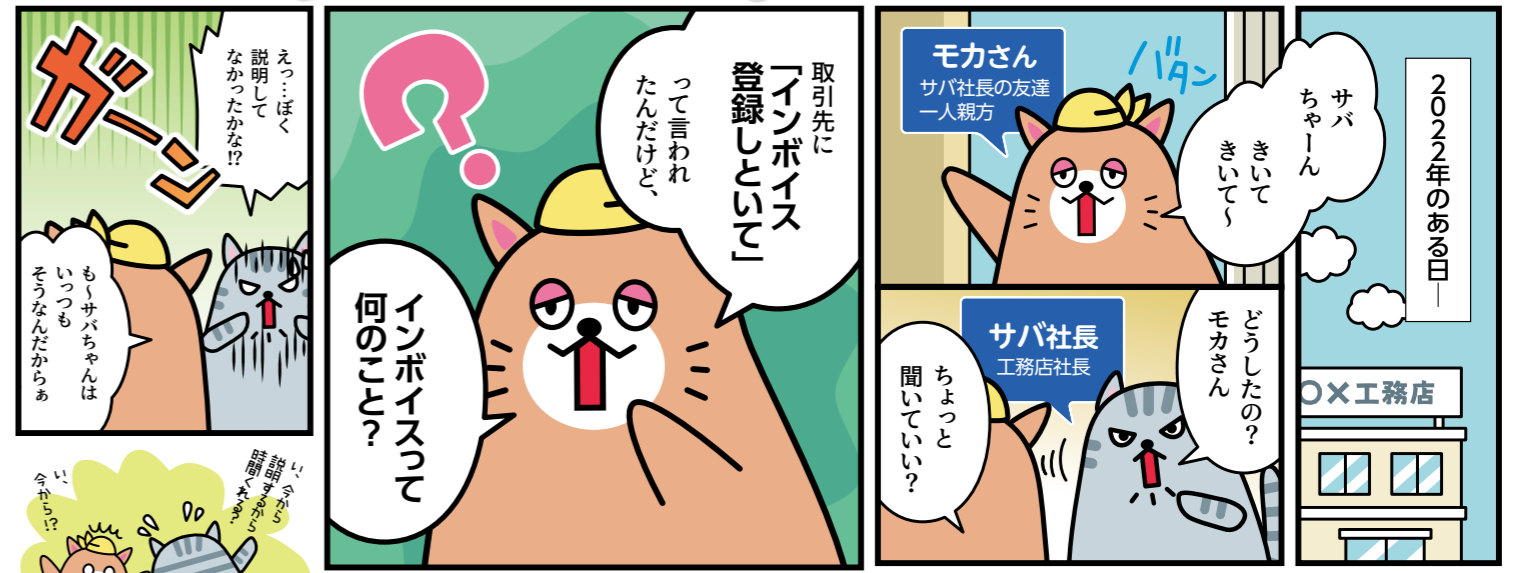
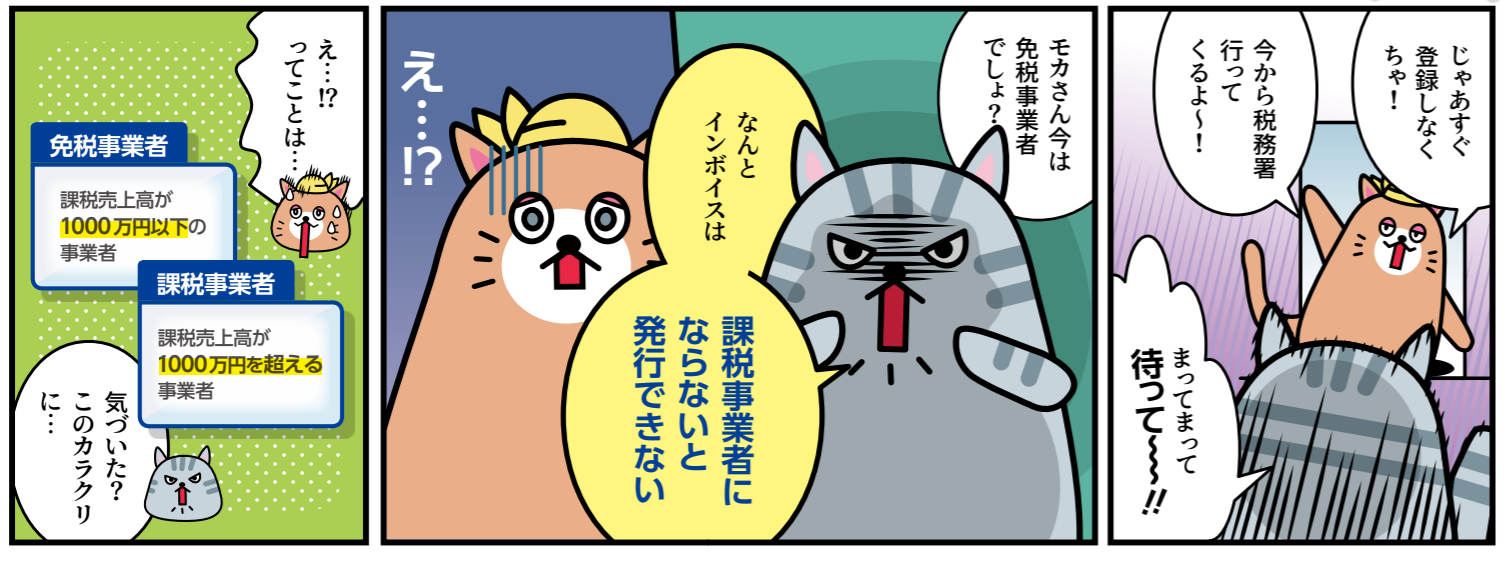


# 忍び寄る負担増 インボイスってなんだ?

消費税の課税事業者、免税事業者を問わず経営に大きな打撃を与えているインボイス制度(2023年10月1日からスタート予定)。この制度のもとでわれわれの仲間は、一体どうなるのか!?



- Q 制度の概要は?**  
課税売上高1000万円以下の消費税申告の必要がない事業者であっても、仕事を続けるために自ら課税事業者とならざるをえない仕組み。制度開始は2023年10月からです。登録期限は、2023年3月31日までです。
- Q 現場では何が起る?**  
消費税課税事業者への転換強要、無茶な値引きや単価の切り下げ圧力等が懸念されています。
- Q こんな事態が起るのなぜ?**  
この制度が、国が定めたインボイス適格請求書等の保存等がなければ、仕入税額控除を認めない仕組みだからです。しかもこのインボイスは、税務署に登録された課税事業者しか発行されないため、免税事業者にとって大きな選択が迫られることとなります。
- Q 免税事業者にとって大きな選択とは?**  
3つが考えられます。  
① 課税事業者になってインボイス発行をして消費税を申告し納める。(消費税申告の事務負担も増えます)  
② 免税事業者のままいる。但し、取引を中止するかもしれませぬ。  
③ 消費税分を値引きして今までどおり仕事を続けさせてもらう。
- Q 法律で決まったことは変えられない?**  
インボイス実施の延期や中止を求める声は、様々なところで上がっています。この声を大きくして、7月の参院選で延期・中止に追い込みましょう。
- Q 制度の影響を受けるのはどんな人?**  
① 課税売上高1000万円以下の免税事業者で、一人親方など業者間の取引のある人  
② 免税事業者と取引のある、課税事業者